

# 重点改革項目Ⅰ 時代の変化に即応した行政経営品質の向上

取組項目(中項目)	3 選択と集中による経営資源の適正配分	No.	11				
具体的な取組項目(小項目)	2 外部評価をふまえた事業の見直し、内部事務の効率化・簡素化	担当課	行政経営課				
改革実施項目名称(細項目)	内部事務の効率化・簡素化						
現状と課題 (これまでの取組み)	内部事務改善実務者会議(総務部カイゼングループ)を組織し、内部事務手法の改善を実施した他、総務事務システム及び同センターに関して検討を行うなど内部事務の効率化・簡素化に関する取組みを進めてきたところである。しかしながら内部事務の範囲は多岐にわたり、一層の効率化・簡素化を行う余地も残されていることから、引き続き一層の改善を進めて行く必要がある。また中長期的には総務事務システム及び同センターの導入など抜本的な内部事務のあり方の見直しを含め検討を進めていく必要がある。						
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 内部事務の改善を進めるとともに、抜本的な内部事務のあり方の見直しを行い、方針を決定する。						
	《事業の最終目標》 効率的で簡素化された内部事務体制を実現する。						
取組の内容	内部事務改善実務者会議を中心に下記の取組みを実施する。 ・内部事務の一層の改善 ・内部事務のあり方の見直し						
改革実施概要	現状 (平成26年度)	平成27年度		平成28年度		中間目標/ 29年度以降	
	取組工程 (具体的な内容)	計画	実績	計画	実績		
	内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施	・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施 ・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務のあり方の見直しを検討	・昨年度に引き続き、総務部カイゼングループを設置し、改善検討を行い、改善を実施 ・庶務事務システムの導入にむけての研究を実施	・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施 ・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務のあり方の見直しを検討	・引き続き、総務部カイゼングループを設置し、改善検討を行い、改善を実施 ・内部事務のあり方について検討を実施	・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施 ・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務のあり方見直し方針を決定	
指標	内部事務改善数(通算)	25	40	57	55	71	70
	内部事務在り方検討	未実施	検討	検討	検討	検討	方針決定

進捗管理	(各年度10月に実施)		平成27年度		平成28年度		※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。
	取組の状況	上半期 (4~9月)	・平成27年度総務部カイゼングループを設置 ・内部事務の改善について検討を実施	予定通り 進捗	・平成28年度総務部カイゼングループを設置 ・内部事務の改善について検討を実施	予定通り 進捗	

年度評価	(年度終了後に実施)		平成27年度		平成28年度	
	取組工程、指標に対する評価		計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を設置し、検討を行った。また庶務事務システムに係る研究を行った。	B	計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を設置し、検討を行った。また、新潟市にふさわしい内部事務のあり方について検討を行った。	B
	課題、今後の方針、改善事項など		・中長期的に検討を行う改善 ・庶務事務システム、庶務事務センターの研究 ・会計業務等への展開		・短期に検討を行う改善と中長期的に検討を行う改善の区分け ・庶務事務システム、アウトソーシング等の研究 ・庁内の内部事務業務等への展開	

計画期間の中間評価	(平成29年度に実施)		中間評価		平成29年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を設置して検討を行った結果、改善実施につなげることができた。また、庶務事務システムやアウトソーシングについての検討を開始した。	B	
	課題、今後の方針、改善事項など		単年度で完了せず中長期的に検討を行うべき改善については、引き続き継続的に取り組む必要がある。庶務事務システムやアウトソーシング等については、今後も研究と情報収集が必要である。会計や契約等他の内部事務業務等への展開が課題である。		

# 重点改革項目 I 時代の変化に即応した行政経営品質の向上

取組項目(中項目)	3 選択と集中による経営資源の適正配分	No.	11
具体的な取組項目(小項目)	2 外部評価をふまえた事業の見直し、内部事務の効率化・簡素化	担当課	行政経営課
改革実施項目名称(細項目)	内部事務の効率化・簡素化		
現状と課題 (これまでの取組み)	内部事務改善実務者会議(総務部カイゼングループ)を組織し、内部事務手法の改善を実施した他、総務事務システム及び同センターに関して検討を行うなど内部事務の効率化・簡素化に関する取組みを進めてきたところである。しかしながら内部事務の範囲は多岐にわたり、一層の効率化・簡素化を行う余地も残されていることから、引き続き一層の改善を進めて行く必要がある。また中長期的には総務事務システム及び同センターの導入など抜本的な内部事務のあり方の見直しを含め検討を進めていく必要がある。		
事業の目標・目的 (考えられる効果)	《計画期間の目標》 内部事務の改善を進めるとともに、抜本的な内部事務のあり方の見直しを行い、方針を決定する。		
	《事業の最終目標》 効率的で簡素化された内部事務体制を実現する。		
取組の内容	内部事務改善実務者会議を中心に下記の取組みを実施する。 ・内部事務の一層の改善 ・内部事務のあり方の見直し		

改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	現状 (平成26年度)	平成29年度		平成30年度		最終目標/ 31年度以降
			計画	実績	計画	実績	
		内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施	・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施 ・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務のあり方の見直し方針を決定	・引き続き、総務部カイゼングループを設置し、改善検討を行い、改善を実施 ・総務部内庶務事務の集約化を実施	・内部事務改善実務者会議を中心に、内部事務の改善検討を行い、改善を実施 ・見直し方針に基づき新たな内部事務制度への移行準備を開始	・引き続き、総務部カイゼングループを設置し、改善検討を行い、改善を実施 ・総務部内庶務事務を集約し、実践	・見直し方針に基づき新たな内部事務制度へ移行
指標	内部事務改善数(通算)	25	70	71	—	—	70
	内部事務在り方検討	未実施	方針決定	方針決定	新制度移行準備	新制度移行準備	新制度移行



進捗管理	(各年度10月に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組の状況	上半期 (4~9月)		予定通り 進捗		予定通り 進捗
			・平成29年度総務部カイゼングループを設置 ・内部事務の改善について検討を実施		・平成30年度総務部カイゼングループを設置 ・内部事務の改善について検討を実施	

年度評価	(年度終了後に実施)		平成29年度		平成30年度	
	取組工程、指標に対する評価			B		B
			計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を設置し、検討を行った。総務部内の庶務事務の集約を実施した。		計画どおり内部事務改善実務者会議「総務部カイゼングループ」を設置し、検討を行った。総務部内の庶務事務を集約し実践した。	
	課題、今後の方針、改善事項など		・総務部内の庶務事務の更なる集約 ・部内庶務事務の集約化の全庁展開 ・総務事務センター、総務事務システムの研究		・部内庶務事務の集約化の他部への展開(8部にて一部開始) ・総務事務のセンター化、システム化に向けた具体的な取組みの実施	

計画期間の評価	計画期間の評価		平成31年度以降
	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)		
		実務担当者レベルでは、目標とした70を超える内部事務改善を実施した。	実務担当者レベルでの改善を引き続き継続する。併せて、総務事務センター設置等により、内部事務の改善を図る。
	課題、今後の方針、改善事項など	内部事務の簡素化、一層の改善のため、総務事務のセンター化やシステム化を実施する。実施にあたっては、国のICT方針を踏まえつつ、他都市での取組み状況やICTの潮流を加味し、将来を見据えた事務のあり方を再構築する必要がある。	